

「イエス様の約束」

使徒言行録 1:1-5
イザヤ書 40:28-31

2023年5月7日
野村 友美 師

<希望の置きどころ>

5月最初の日曜日になりましたね。先週の礼拝の後、年に1回の教会総会が今年も無事に行われました。過ぎた1年間の歩みを振り返って、新しい1年に心を向けて、新年度の教会役員が選挙で選ばれました。

私たちの新しい一年を照らす灯火として、旧約聖書のイザヤ書のこの言葉を掲げたいと思います。

「あなたは知らないのか、聞いたことはないのか。主はとこしえにいます神、地の果てに及ぶすべてのものの造り主。倦む(うむ)ことなく、疲れることなく、その英知は究めがたい。疲れた者に力を与え、勢いを失っている者に大きな力を与えられる。若者も倦み、疲れ、勇士もつまずき倒れようが、主に望みをおく人は新たな力を得、驚のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない。」
(イザヤ40:28-31)

誰だって弱ったり疲れたり、諦めて動けなくなる時がきっとあるでしょう。どんなに若くて

も、どんなに元気で強くても、私たち人間の気力や体力には、やっぱり限界があります。どんなに賢くても、どんなに勉強熱心でも、この世界の何もかもを知って理解することは、誰にもできません。どんなに勇気があったって、不安で足がすくんで動けなくなったことがない人は、多分いないはずです。

今は特に、長く続いたコロナ禍の影響で、多くの人が心も体も疲れているように感じられます。若かろうが強かろうが、疲れて弱ったまままでいたら、いつかは倒れて動けなくなってしまうでしょう。だからこそ私たちは今、自分たちの希望の置きどころを確認しておく必要があると思います。すべてのものの造り主である神様が、どんな時にも私たちの希望の源でいてくださる。弱って疲れて倒れ伏す私たちに、新しい力を与えて起き上がらせてくださる神様がおられる。この灯火を掲げて、伝え続ける教会でありたいと願います。世界中に送り出されていって、イエス様の十字架と復活の出来事を伝えてキリスト教会を形作った、イエス様の弟子たち。彼らもまた、この希望の灯火を掲げて進み続けた人たちでした。

新しい一ヶ月の最初の日曜日、今日からしばらく私たちは新約聖書の使徒言行録をご一緒に読んでいこうとしています。使徒言行録は、先週まで読んできたルカによる福音書続き、第2巻として書かれたと言われている文書で

す。テオフィロという人に宛てて福音書を書いたルカは、同じテオフィロに宛てて今度はイエス様の弟子たちのことを伝えようとしています。神様がイスラエルに約束しておられた救い主イエス様の、言葉と行動を体験した弟子たちが、どうやってそれを証言していったのか。イエス様から弟子たちに与えられた聖霊は、一体どんな働きをしたのか。そのことを物語るいちばん初めのエピソードとして、ルカはイエス様から弟子たちへの、ひとつの約束を伝えているんです。

<洗礼と聖霊>

十字架で死なれて復活された後、イエス様は弟子たちの前に姿を現されました。今日の使徒言行録はひと言で簡単に説明していますが、ルカによる福音書はその時の様子をもう少し詳しく描いています。復活されたイエス様を見て、弟子たちはまず「亡霊だ」と怖がって怯えました。イエス様はそんな彼らに語りかけて、十字架に打ち付けられた傷跡がある手足を見せて、目の前で焼き魚まで食べて見せて、ご自分が確かに生きておられることを示されました。そして、それから天に上げられるまでの40日間、弟子たちと一緒にいて神の国について教えておられました。

復活して弟子たちと再会なさったその日、イエス様は彼らに向けてこう宣言なさっています。

す。エルサレムから始めて、あなたたちはあらゆる国の人々に、神様からの罪の赦しと救いを証言する証人になる。つまりイエス様の弟子たちはこれから、文化も宗教も価値観も違う人たちのところへ送り出されて、イエス様のことを証言することになる、というのです。

イスラエルで生まれ育った弟子たちにとって、それはとても怖くて不安なことでした。しかもこれからはもう、今までみたいにイエス様の姿を見ることも、声を聞くこともできなくなってしまいます。だからイエス様は40日という時間をかけて、弟子たちに寄り添って、慰めて励まして、これから任せる大切な役目の準備をさせておられたんです。

一緒に食事をしていたときに、イエス様は弟子たちにこんなことを言われた、とルカはイエス様の言葉を伝えています。エルサレムを離れないで、前にわたしから聞いたもの、父なる神様が約束された聖霊を待っていなさい。ヨハネは水で洗礼を受けたが、あなたたちは間もなく聖霊による洗礼を授けられる。確かにイエス様は、弟子たちがイエス様の証人として世界中に送り出されていくその前に、彼らに聖霊を送ると約束しておられました。怖くて不安なままで、一人ぼっちで送り出したりはしない。生きて働く神様の霊、聖霊がこれからはあなたたちと一緒にいる、というあの約束を、イエス様はここで「聖霊による洗礼」と表現し

ておられるんです。

当時のイスラエル人たちにとって、洗礼は「結び合わせる」ための儀式でした。犯してしまった罪の汚れを洗い流して、神様の清さに結び合わせられるために。あるいは、他の民族に生まれた人がユダヤ教に改宗して、神様の民であるイスラエルに結び合わせられるために。水を使った洗礼が行われていたそうです。

す。「ヨハネは水で洗礼を授けたが」とイエス様が引き合いに出しておられるのは、洗礼者ヨハネという呼び名で知られていた人物のことです。彼は、イエス様が救い主としてやって来られることを予告して、イスラエルの人たちに罪の悔い改めを呼びかけました。「神様の民だ」なんて名乗りながら、神様の思いを無視して傲慢になっている自分たちの罪の姿に気づきなさい。自分で自分を神様から遠ざけている、その罪を認めて、神様の思いに結び合わせられて、救い主を迎える準備しなさい。

そうヨハネは呼びかけて、悔い改めのしるしとしての洗礼をヨルダン川で人々に授けていました。イエス様も、このヨハネから洗礼をお受けになっています。これはちょっと不思議なことのように思えます。神様のひとり子で、そもそも罪とは無縁のイエス様が、わざわざ悔い改めのしるしの洗礼を受ける必要はなかったはずでした。でもイエス様はあえて、ヨハネからの洗礼をお受けになりました。イエス様は

私たちと同じ1人の人間として、お生まれになりました。私たちと同じように、悲しみも喜びも、苦しさも楽しさも味わいながら、イエス様は生きておられました。そしてそれだけじゃなくて、イエス様はヨハネの洗礼を受けることで、悔い改めが必要な私たち一人一人と、ご自分を結び合わせられたんです。神様の思いを無視したがる私たち人間の真ただ中に、見えて聞こえて無視できないやり方で、神様からの愛を届けるために。一人一人の罪の重荷を一緒に背負って、すべての人と一緒に生きるために。イエス様はヨハネから洗礼をお受けになりました。この洗礼を受けた時に、天から聖霊がイエス様に降ってこられたことをマタイとマルコとルカ、3つの福音書が伝えています。私たち人間の真ただ中で生きるイエス様と、天におられる神様との間を聖霊が結び合わせておられたのです。

<イエス様の約束>

だから聖霊による洗礼とは、地上の弟子たちを天におられるイエス様と、そして父なる神様と結び合わせるためのものです。イエス様の約束の通りに、やがて弟子たちは聖霊を受け取って、神様からの力を与えられて、あちこちに送り出されていきました。その弟子たちの証言を聞いて、イエス様を救い主だと信じる決断をした人たちにまた聖霊が与えられて、

神様からの愛と救いは世界中に伝えられていきました。イエス様が約束なさった聖霊による洗礼は、弟子たちの群れである教会を通して、現在の私たちに至るまで脈々と続いているんです。

十字架で死んで復活されたイエス様と、聖霊によって結び合わせられて、私たちはこの体の死さえも超えて、神の国を生きる命を与えられています。そして聖霊は、私たち一人一人の生き方をイエス様に結び合わせてくださるお方でもあります。もちろん、イエス様を信じて洗礼を受けたからといって、いきなり清く正しい、素晴らしい人になれるわけじゃありません。そのことは、私たちの誰もがきっと身にしみて知っているでしょう。どうしようもない罪を抱える私たちが、それでも神様の愛と正しさを求めて、生きていけるように。弱ったり疲れたり、先が見えない不安の中で、それでも神様がなさることに希望を置いて、一歩ずつ進んでいけるように。私たちの強さにも弱さにも、イエス様が聖霊を通して寄り添ってくださるんです。

ヨハネの洗礼を受けて、私たちすべての人の罪の重荷を一緒に背負ってくださった、神様のひとり子。私たちの罪が生み出す苦しみと悲しみ、孤独と絶望を、十字架の上で背負って味わってくださった救い主が、今も聖霊によって、私たち一人一人と一緒におられます。

弱って、疲れて、倒れて動けなくなる時も、聖霊が私たち一人一人をイエス様に、神様からの愛に、ぎゅっと結び合わせていてくださいます。だから主に望みをおく人は新たな力を得、驚のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れぬ。この預言者イザヤの証言に、私たちは声を合わせてうなづくことができるんです。弱っても疲れても、つまづいて倒れる時も、聖霊が結び合わせてくださっているイエス様に信頼して、神様の愛に希望を置いて、「立ち上がる力を与えてください」と祈ることができる。それが、イエス様から弟子たちに与えられた聖霊の約束です。

イエス様を救い主だと信じて、聖霊による洗礼を受けることは、神様の愛に生かされる人生のスタートラインだと言っていいでしょう。途中で何回でも弱るかもしれません。何回でも疲れるし、つまづいて倒れてしまう時もあります。それでも、何回倒れてもそのたびに私たちは、イエス様の約束にすがりついていいんです。聖霊が結び合わせてくださっているイエス様にすがりついて、神様の愛にすがりついて、何回でも立ち上がって、歩き出していけるんです。

そうやって今この時も、聖霊によって神の国を生きている者の群れ。それが私たち、イエス・キリストの教会です。

お祈りいたしましょう。